

夏休みの学習会

今年の夏休み、皆さんは何を学習しましたか？

私は津島の伝統文化を学ぶ学習会に二度出席しました。

一回目はこの春新しく津島市の先生となられた皆さんと一緒に「伊六万才御殿の舞」を見学しました。伊六万才とは、明治の初め、伊藤伊六によって始まった尾張万歳で、正月に玄関先で行う門付けと招かれた屋敷で行う御殿万歳とが演じられてきました。「御殿の舞」は、太夫と才蔵の掛け合いで始まります。津島神社をはじめこの辺りの神社が登場します。その後、中腰姿勢で、恵比寿・大黒天・福祿寿・布袋・寿老人・弁財天・毘沙門天の七福神が鼓を打ち鳴らしながら踊りまわります。これは知多半島で行われていたものを移したと言われていいます。

二回目は尾張津島秋祭りの学習会とお囃子の発表会に出席しました。二年前にこのメッセージ欄に書きましたが、秋祭りはもともと三つの祭り（七切り祭・今市場祭・向島祭）が津島神社に集結して行われるようになった祭りです。今回学習会で、尾張津島天王祭は本町筋（本町の両側町）の町方の祭りで、その周辺に広がる地方の祭りが秋祭りであることを教えて頂きました。またお囃子は、それぞれの山車や場面で異なり、はちべえや三番叟が演奏されることも知りました。子どもたちの一生懸命な演奏の姿に感激しました。こういった学習会で伝統文化が受け継がれていくことができると素晴らしいと思いました。

暑い名古屋、津島。学生時代の恩師（大和田道雄先生）と先輩たちが市役所におみえになり、「気候環境研究」という研究冊子を持参してくださいました。各学校に二冊ずつ配ることができました。大和田先生は都市気候学（小気候）の研究者で、特に伊勢湾周辺の気候を明らかにされてきました。おみえになった当日は南高北低（南に高気圧北に低気圧）のため鈴鹿山系よりフェーン現象がおき、時間雨量が100ミリを越えたり、濃尾平野が35度以上の猛暑日となったりすることを説明して下さいました。また都市部で熱が冷めないヒート・アイランド現象についてもご教授頂きました。津島市内でも天王川公園周辺や下新田周辺は若干気温が下がり、涼しいことも教えて頂きました。45年ぶりに大和田先生や先輩たちと再会し、懐かしくて思わず皆さんと握手をしてしまいました。懐かしい学習の場となりました。

令和6年9月2日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視